二　累加形

① **不唯A、(而)亦B** ＝ **たダニAノミナラず、(しかうシテ)またB**

(ただ単にAだけでなく、またBでもある)

＊唯＝独(ひとり)

(例) 叔不惟薦仲、又能左右之如此。

注　叔…斉の国の鮑叔(ほうしゅく)のこと。
仲…斉の国の管仲(かんちゅう)のこと。

〔叔　　仲を薦むるのみならず、又能く之を左右すること此くのごとし。〕

(鮑叔は管仲を　　推薦した　　　、(管仲を) このようにうまく補佐していた。)

※鮑叔は管仲のことを信頼しており、斉の宰相の桓公(かんこう)に管仲を推薦し、自分は管仲の下につき、うまく補佐をした。
また、管仲も鮑叔の名誉を守り、お互いの立場が変わろうが、深い友情は変わらなかった。

⇩

『管鮑(かんぽう)の交わり』 ＝ お互いに信頼しあうきわめて親密な関係のこと。

②

非ニ唯ダニ[A]ノミニ、亦タ[B] ＝ ただニAノミニあらズ、またB

（ただ単にAだけでなく、またBでもある）

（例）**非**ニ**徒**無レ益、**而**シテ**又**害スレ之ヲ。

〔　　　　、而して又之を害す。〕

（　　　　、またかえって害がある。）

③

豈ニ唯ダニ[A]ノミナランや哉 ＝ あニただニAノミナランや

（どうしてAだけであろうか、いや、Aだけではない）

（例）**豈独**我ガ義也**哉**。

〔豈に独り我が義のみならんや。〕

（どうして私のためだけの道義であろうか、いや、私だけではない。）

問四　「何ゾ独リ丘（きう）ノミナラン哉（や）。」はどういうことを言っているのか。最も適当なものを次の中から選べ。

注　丘…孔子の名。ここでは自称。

ア　世に認められないのは、私だけではない。
イ　世に認められるかどうかは、私のことだけで考えない。
ウ　世に認められないなかに、私のような者はいない。
エ　世に認められなくても、私は私以外の何者でもない。

問五　「豈独我ガ父哉。」を書き下し文にせよ。

〈Memo〉

第16講　PART1　確認問題

①　累加の句形「不㆓唯（ダニ）Ａ（ノミナラ）㆒、而（シテ）亦Ｂ」の傍線部と同じ意味・用法をもつ語として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　何　　イ　夫　　ウ　哉　　エ　独

②　「不㆓唯（ダニ）忘㆑（ルルノミナラ）帰（ルヲ）、可㆓以（シテ）終㆑（フ）老（ヲ）。」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　帰ることを忘れることはないだろうし、ここで生涯を終えることもない

イ　ただ単に帰ることを忘れるだけでなく、このままここで生涯を終えてもよい

ウ　どうして帰ることを忘れることがあるだろうか、いや、忘れることはない

エ　帰ることなどすっかり忘れてしまっており、ここで生涯を終える決心をした

③　「非㆓唯雨降㆒、亦風吹。」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　唯だ雨降らざれば、亦風吹く。

イ　唯だに雨降るのみに非ず、亦風吹く。

ウ　雨のみ唯だ降るに非ず、風亦吹く。

エ　雨のみ唯だ降らず、風亦吹く。

④「豈徒順レ之。」は「どうしてこれを押し通そうとするだけであろうか、いや、押し通そうとするだけではない」という意味である。読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ただにいたづらにこれにしたがふのみ。
イ　ただにこれにしたがふのみならず。
ウ　あにただにこれにしたがふのみならんや。
エ　あにいたづらにこれにしたがはんとす。

⑤「豈ニ唯ダ群臣ノミ頼(よ)ランヤレ之ニ。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　群臣…私たち臣下。
　　頼レ之…おかげをこうむる。

ア　私たち臣下だけがそのおかげをこうむるのではなく、下々の民にまで及びます。
イ　私たち臣下がそのおかげをこうむることはなく、下々の民だけに及びます。
ウ　私たち臣下がそのおかげをこうむったとしても、下々の民には及びません。
エ　私たち臣下だけがそのおかげをこうむるので、下々の民に及ぶことはないでしょう。

第16講　PART1　解答

二

①〔叔惟だに仲を薦むるのみならず、又〜〕（鮑叔は管仲を**ただ**推薦した**だけでなく、また〜**）

②〔**徒だに益無きのみに非ず、**而して又之を害す。〕（**ただ益がないだけでなく、**またかえって害がある。）

問四　ア

問五　豈に独り我が父のみならんや。

第16講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 累加の句形の「唯ダニ」の部分は「独リ」が用いられることもある。よって、エが正解。

② 「唯ダニAノミナラず、B」は「ただ単にAだけでなく、B」と訳す。よって、イが正解。

③ 「非二唯A一、亦B」は「唯ダニAノミニ非ズ、亦B」と読む累加の句形。よって、イが正解。

④ 「どうして～だけであろうか、いや、～だけではない」という意味になるのは累加。「豈徒～」は累加形で「あニたダニ～ノミナランヤ」と読む。よって、ウが正解。

⑤ 累加の句形。直訳すると「どうして私たち臣下だけがそのおかげをこうむるでしょうか、いや、私たちだけではありません」となる。この訳に最も近いのはア。よって、アが正解。

〔解答〕

① エ　② イ　③ イ　④ ウ　⑤ ア